



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 株式会社フォーラムエンジニアリング 上場取引所 東
コード番号 7088 URL <https://www.forumeng.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役兼社長執行役員 （氏名）佐藤 勉
問合せ先責任者 （役職名）上席執行役員 （氏名）千葉 宣行 TEL 03-3560-5505
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	9,228	8.2	1,185	3.9	1,203	3.7	810	4.7
2025年3月期第1四半期	8,528	10.5	1,141	73.2	1,160	75.9	774	74.1

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 752百万円（△18.0％） 2025年3月期第1四半期 917百万円（103.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	15.41	15.30
2025年3月期第1四半期	14.82	14.67

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	18,506	12,253	65.0
2025年3月期	18,778	13,164	68.8

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 12,020百万円 2025年3月期 12,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	21.00	—	32.00	53.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		31.00	—	31.50	62.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	18,280	7.8	1,925	△5.1	1,950	△5.6	1,295	△6.1	24.64
通期	38,200	10.1	5,000	19.0	5,035	17.5	3,400	17.9	64.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	53,419,200株	2025年3月期	53,419,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	801,194株	2025年3月期	856,394株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	52,590,663株	2025年3月期1Q	52,229,819株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年6月30日)におけるわが国の経済は、消費者マインドが弱含んでいるものの、雇用・所得環境の改善の動きが続く中で持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかに回復しております。企業収益が改善している一方で、米国通商政策のわが国への影響が懸念されており、企業の業況感では前期と横ばいの状況が続いております。

このような環境下において、人口減少に伴う慢性的人材不足感はマーケット全体に強まっており、当社主力のエンジニア派遣サービスへの需要は高い水準を維持しております。求人広告の掲載内容の見直しや退職者のカムバック採用制度等の施策を講じた結果、派遣エンジニアの採用数は前年同期比で増加し、238名となりました。

利益面においても、派遣エンジニアの稼働者数が増加したこと、人手不足、インフレ影響により派遣単価が上昇したことにより増益となりました。

これらの結果により、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,228百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は1,185百万円(同3.9%増)、経常利益は1,203百万円(同3.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は810百万円(同4.7%増)となり、いずれも前年同期を上回っております。

また、当社は、「スキルがつながる世界へ。」をミッションに掲げ、機電系学生の学びやエンジニアが持つスキルと、企業が求めるスキルとのつながりを結びつける、独自のマッチングシステム「コグナビ」各サービスの浸透と拡充に取り組んでおります。当社は機電系エンジニア人材市場において、この「コグナビ」のマッチングテクノロジーを駆使し、エンジニアと企業をスキルでつなぐ世界の実現を目指しております。エンジニア派遣、新卒理工系学生の就職支援、転職支援、教育支援まで、エンジニアのすべてのキャリアシーンを、「コグナビ」がサポートしてまいります。

エンジニア派遣サービス「コグナビ派遣」は、顧客企業の需要に確実に応えるべく、稼働人員数の更なる増加に繋げるため、派遣エンジニアの採用強化に取り組んでおります。当第1四半期連結累計期間末時点の稼働人員数は、前年同期と比べ226名増加し、4,563名となりました。

機電系学生のための就職支援サービスである「コグナビ新卒」では、機電系学生年間約4万人すべてがメーカーに就職しエンジニアとして働ける世界を実現するため、元メーカーエンジニアの当社社員が講師となり、大学3年生を対象にエンジニアの魅力を伝える「エンジニア職セミナー」を機電系学科のある大学で実施しております。当社はこのセミナーを実施することによって培われた大学とのつながりを活かし、第2の収益の柱とすることを目指してまいります。また、従来は当社が学生の就職活動をサポートし、採用企業から紹介料として成果報酬をいただく形態でしたが、当期から課金体系を掲載料型に変更しております。当第1四半期連結累計期間末時点における2027年卒の学生向けサイトの登録会員数は5,208名となり、掲載社数は133社となっております。

経験者採用向けエンジニア紹介サービスである「コグナビ転職」は、「コグナビ新卒」でメーカーに就職したエンジニアが、やがて転職する際の受け皿となり、この流動機会を捕捉し、中長期には第3の収益の柱とすることを目指してまいります。

全国各地の提携大学の現役教授等による企業研修を提供するサービス「コグナビカレッジ」は、大学教授の保有スキルをデータベース化する事で、企業のリスキリング需要に沿った専門性の高い研修を実施しております。

また、連結子会社であるCognavi India Private Limitedが運用しているインド初の人工知能(AI)マッチング技術を駆使したジョブポータルサイト「Cognavi(コグナビ)」は、大学や企業のニーズなど、インドの市場環境に合わせたビジネスモデルを現地スタッフが考案し、機電系学生のみならず、すべての学生を対象とした新卒採用メディアとしてビジネス展開をしております。当第1四半期連結累計期間末時点における学生会員数は約34万名に達し、サービス導入企業数も約12,000社と急速に増加中です。無償でサービスを利用している企業の有償サービスへの切り替えを促進するため、定期課金型の「サブスクリプションモデル」による有料プランも導入を予定しております。また2025年3月より、「Cognavi(コグナビ)」を活用し、インドで日本語を学び日本での就職を希望している学生と、優秀なインド人学生の採用を望んでいる日本企業をつなぐ「WORK IN JAPAN」の取り組みも開始しております。

なお、当社グループはエンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は15,746百万円となり、前連結会計年度末に比べ213百万円減少いたしました。これは主に売掛金が480百万円増加した一方、現金及び預金が700百万円減少したことによるものであります。固定資産は2,760百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円減少いたしました。これは主にソフトウェア仮勘定が54百万円増加した一方、ソフトウェアが86百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は18,506百万円となり、前連結会計年度末に比べ271百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は6,176百万円となり、前連結会計年度末に比べ650百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金が978百万円、未払法人税等が594百万円減少した一方、未払金が2,068百万円増加したことによるものであります。固定負債は76百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主にリース債務が8百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は6,253百万円となり、前連結会計年度末に比べ639百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は12,253百万円となり、前連結会計年度末に比べ911百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益810百万円を計上した一方、剰余金の配当1,682百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は65.0%（前連結会計年度末は68.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期の連結業績予想につきましては、2025年3月期決算短信発表時点で公表しました予想より変更ございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,633	10,932
売掛金	4,134	4,615
その他	192	198
流動資産合計	15,960	15,746
固定資産		
有形固定資産	500	481
無形固定資産	1,077	1,045
投資その他の資産		
その他	1,239	1,233
投資その他の資産合計	1,239	1,233
固定資産合計	2,818	2,760
資産合計	18,778	18,506
負債の部		
流動負債		
未払金	921	2,989
未払法人税等	1,026	431
賞与引当金	1,900	922
役員賞与引当金	—	4
その他	1,677	1,828
流動負債合計	5,526	6,176
固定負債		
リース債務	73	64
その他	14	12
固定負債合計	87	76
負債合計	5,614	6,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	117	117
資本剰余金	129	129
利益剰余金	13,067	12,188
自己株式	△401	△375
株主資本合計	12,913	12,059
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△0	△39
その他の包括利益累計額合計	△0	△39
非支配株主持分	251	232
純資産合計	13,164	12,253
負債純資産合計	18,778	18,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	8,528	9,228
売上原価	5,816	6,345
売上総利益	2,711	2,882
販売費及び一般管理費	1,570	1,697
営業利益	1,141	1,185
営業外収益		
受取利息	19	19
その他	2	1
営業外収益合計	21	21
営業外費用		
支払利息	0	2
シンジケートローン手数料	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	2	2
経常利益	1,160	1,203
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	1,160	1,203
法人税等	402	404
四半期純利益	757	799
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益	774	810

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	757	799
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	159	△47
その他の包括利益合計	159	△47
四半期包括利益	917	752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	893	771
非支配株主に係る四半期包括利益	24	△19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

当社グループは、エンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

当社グループは、エンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	98百万円	102百万円